

# IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2020年12月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は65社。当該ISPの約1.12億IPアドレスに対して調査を実施。
- NOTICEによる注意喚起は、2,002件の対象を検知しISPへ通知。
- NICTERによる注意喚起は、1日平均113件の対象を検知しISPへ通知。

## NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*

**2,002件** (11月度:1,992件)

(参考) 2020年度の累積件数: 7,392件 (2019年度: 2,249件)  
ID・パスワードが入力可能だったもの: 8.6万件

\*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)

増加要因: 調査プログラムの改修や  
調査対象アドレスの拡大等

減少要因: ISPによる注意喚起により  
利用者が対策実施

調査プログラムの大幅改修



## NICTER注意喚起※の取組結果

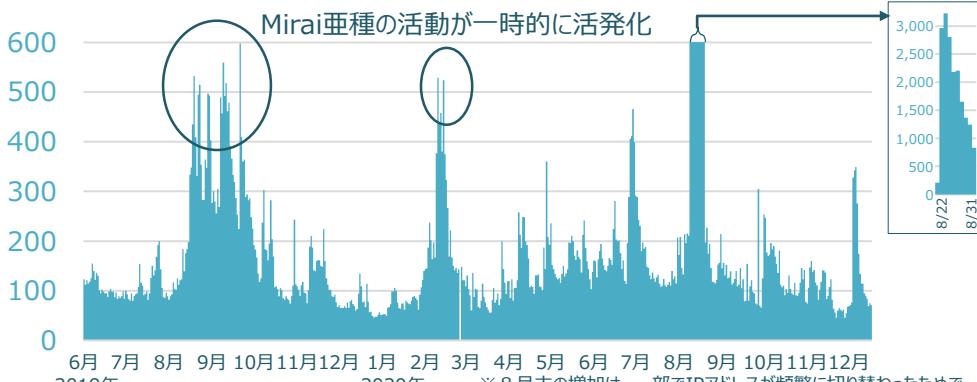
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*\*

**1日平均113件** (11月度:114件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均187件  
最小: 46件(2020/12/6等) / 最大: 3,227件(2020/8/24)

\*\*) NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



NOTICE注意喚起・NICTER注意喚起のいずれについても、前月度から全体として大きな変化はありません。